

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を実践する

脳神経内科、脳神経外科グループを中心に毎月勉強会を開催した。脳卒中だけでなく、神経疾患と治療に関しても計画し、専門的知識・技術の習得が行え、症状の観察やアセスメント、術後のドレーンなどの管理に活かすことに繋がった。

2) 病院経営に参画する

病床利用率は 75.2% (前年度 81.6%)、平均在院日数 10.8 日 (前年度 11.6 日) であった。特別室稼働率は 88.8% (前年度 86.7%)、重症者室稼働率は 98.36% (前年度 93.2%) であった。前年度の病床利用率と診療科別の患者数などを分析した結果、整形外科と消化器系(消化器内科・外科)に対する取り組みを行うグループを立ち上げた。そのグループを中心に勉強会を開催し、スタッフの手術や検査の看護に対する不安を軽減することに取り組んだ。結果、他診療科の手術・検査入院を受け入れることで、患者数が減少している中でも、効果的に病床利用を行えた。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

(1) 4 月に転倒によるレベル 3b 事例が 2 件発生したが、その後はタイムリーかつ予防的にベッドサイドカンファレンスを活用し、複数人で患者の個別性に合わせた転倒予防策を検討しベッド周囲の環境調整を行ったことで、転倒によるレベル 3b 以上の発生を防止することができた。

(2) 確認不足によるインシデントは前年度インシデント総件数 187 件のうち 134 件で 71.6% であった。それを受け今年度は確認方法についての勉強会や、指差呼称の行動チェック、内服薬のチェック方法(準備時ダブルチェックと与薬時シングルチェック→シングルチェックを 2 回)を変更した。結果、インシデント総件数 176 件のうち確認不足によるものは 61.9% へ減少した。

(3) 褥瘡ハイリスク患者のスクリーニングとマットレスの選択、全身の皮膚の観察、体位変換を行っていたが、新規褥瘡 6 件、スキンテア 3 件、MDRPU は 1 件発生した。

4) 専門職としての能力開発に努める

実地指導者とプリセプターを中心に、部署内の年間教育計画に沿って新人看護師教育を行うことができた。看護技術と業務手順の習得状況はほぼ計画通りに実施でき、新人看護師の育成に繋がった。また、新人看護師の日々の言動をプリセプター、実地指導者、副看護師長、看護師長とで共有し、意図的に声をかける、話を聞く場を設けることなどでメンタルヘルスに取り組み、休職や離職防止が行えた。

5) 看護の先輩として学生指導に携わる

実習担当看護師が事前に教員と情報共有し、学生のレディネスを考慮した患者選定を継続した。それにより指導内容や方法を一緒に検討できており、学生のレディネスに合わせた指導に繋がっている。

6) 活気ある職場、元気の出る職場づくりを推進する

計画的にリフレッシュ休暇を取得することができた。それ以外にも計画的に年休取得を行い、リフレッシュ休暇以外の年休取得は看護師で平均 7.71 日、看護補助者で平均 9.25 日であった。

2.病床運営状況

表1 令和2年度 病床運営状況

| 収容可能 病床数(床) | 診療科名 | 月平均 | | 平均在院 患者数(人) | 平均在院 日数(日) | 病床 利用率(%) | 病床 稼働率(%) |
|----------------|----------------|---------------|--------------|----------------|---------------|--------------|--------------|
| | | 新入院患者数 (人) | 退院患者数 (人) | | | | |
| 49 | 脳神経外科 脳神経内科 | 90.7 | 116.8 | 36.9 | 10.8 | 75.2 | 83.1 |
| 重症加算病床 | | 有料個室 | | 死亡者数(人) | | | |
| 病床数(床) | 稼働率(%) | 病床数(床) | 稼働率(%) | | | | |
| 2 | 98.4 | 7 | 88.8 | 15 | | | |

3.看護体制

表2 令和2年度 看護体制(令和2年4月1日現在)

| 配置人数(人) | 看護方式 | 夜勤体制(準:深) |
|---------|------------------|-----------|
| 35 | PNS [®] | 4:3 |

4.看護統計

1)重症度、医療・看護必要度

表3 令和2年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ

| 基準を満たす 患者の割合 (%) | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|------------------------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 24.9 | 26.1 | 35.2 | 28.1 | 24.1 | 25.1 | 26.6 | 30.6 | 28.4 | 33.1 | 26.4 | 26.4 |

2)部署データ

表4 令和2年度 SCU 病床運営状況とt-PA 治療件数

| | |
|---------------|-----|
| SCU 入室患者数(人) | 184 |
| SCU 平均在室日数(日) | 5.1 |
| t-PA 投与総患者(件) | 12 |

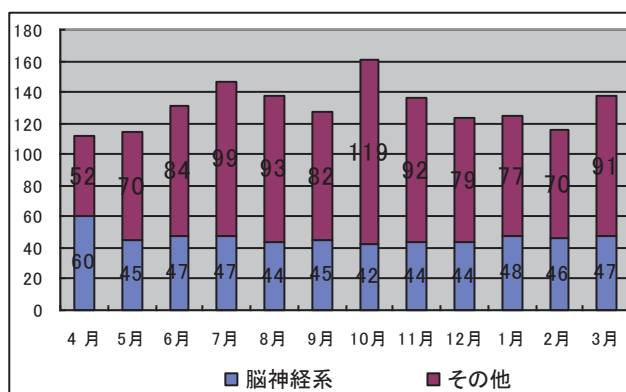


図1 令和2年度診療科別入院取扱件数

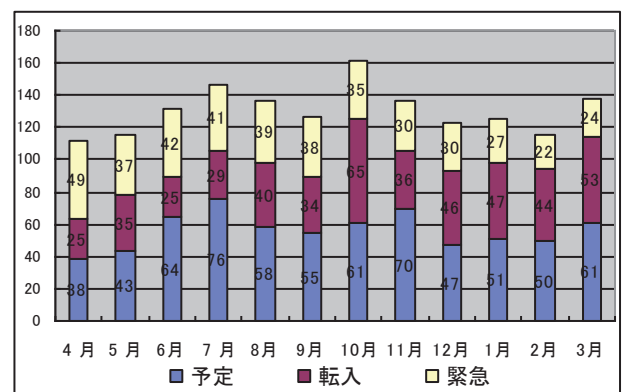


図2 令和2年度入院取扱件数